

『源氏物語』

- 光源氏の多彩な恋愛遍歴
  - 
    主人公・光源氏
    - 容姿端麗で才気煥発な貴公子
    - 理想の女性を求め続ける
  - 想いを寄せた女性たち
    - 一人ひとりが個性的な魅力
    - 紫の上・葵の上・明石の君など
    - 印象的なキャラが次々と登場
- 義理の母との禁断の恋
  - 
    継母・藤壺
    - 最も衝撃的な恋愛
    - 光源氏が早くに亡くした実母に瓜二つ
    - 光源氏の父であり帝でもある桐壺帝の妻
    - 二人の間に皇子（冷泉帝）が誕生する 
  - 身分の壁を越えた愛の物語
    - 重大な代償を伴う
    - 罪の意識など見事な心情描写
- 栄光と挫折の人生
  - 『源氏物語』
    - 平安時代の宮廷社会が舞台
    - 
      貴族たちの複雑な人間関係が絡み合う
    - 平安貴族の儚さと無情さを感じさせる作品
  - 光源氏
    - 帝の信頼を得る一方で、権力者から恨みを買うことも
    - 持ち前の知恵と人徳で困難を乗り越える